



2020・4・21

第 371 号

101-0065 東京都千代田区

西神田 2-5-7 神田中央ビル 303

TEL 03-3221-5075

FAX 03-3221-5076

予算は“武器の売買でなく命を救うために”

ローマ教皇が紛争停止よびかけ

ローマ・カトリック教会のフランシスコ教皇は 12 日、バチカンのサンピエトロ大聖堂で復活祭（イースター）のミサを行い、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う危機に対応するため、紛争を終わらせ、莫大な資産は生命を救うために使われるべきであって、今日の困難を乗り越えるため、世界が連帯するよう求めました（詳細は 4 面参照）。新型コロナの感染拡大を受け、ミサそのものも少人数で開かれましたが、テレビやインターネットで中継されました。

これとの対比であらためて思い知らされるのが戦争放棄の憲法をもちながら 6 年連続で軍事費過去最高を記録し続けている安倍首相のコロナ被害への対応です。

緊急事態宣言をうけて発表された日本政府の「緊急経済対策」と補正予算案は、安倍首相の「世界最大規模の 108 兆円」との宣伝にもかかわらず、中味は一般会計からの支出 16・8 兆円にすぎず、そのうち当面のコロナ対策に使える金額は約 12 兆円です。大きく高まった世論の圧力で補正予算の見直しや 1 人 10 万円給付を表明しましたが、

九条の会ブックレット

「安倍改憲のねらいと危険性 —改憲発議阻止のために—」

◇安倍改憲のねらいと危険性

—自衛隊明記論を中心にして

山内 敏弘

◇安倍改憲をめぐる新たな

情勢と阻止のたたかい

渡辺 治

小沢 隆一

声明「草の根からの『改憲発議許さず』
の声で安倍改憲に終止符を」

A5 版 68 頁 定価 400 円（〒別）

一律休校に伴い仕事ができなくなった保護者に日額 4100 円を支給する制度で見ると申請件数は全国で 500 件にとどまり、交付件数はわずか 6 件。医療体制も崩壊の危機に直面しています。

たとえばイギリスではすべての労働者、小規模労働者、フリーランスに最大毎月 2500 ポンド（33 万円）補償しているのとは違って政治姿勢の根本が問われています。

連携を強め励ましあって

【和歌山県串本町／くしもと9条の会】

「くしもと9条の会」は3月29日串本町文化センターで、第6回総会を開催しました。

今年の総会は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のために窓を開け、席の間隔を広くとり、マスクを配り、消毒液を用意して行いました。そして記念講演会もDVD視聴に切り替えました。

第1部は20名程の参加で、昨年12月、銃撃により亡くなられた中村哲医師がアフガニスタンで約25kmの用水路を完成させたDVD『アフガニスタン—用水路が運ぶ恵みと平和』を視聴しました。内戦が絶えないアフガニスタンで平和への足掛りを築かれたことに感銘し、「武器では平和を築けない」という教えを再認識しました。地球温暖化が言われていますが、用水路完成によりアフガンの砂漠では年平均気温が5℃前後下がり、夏の気温が2012年以降10℃以上下がったとのこと。

第2部の総会は15名の参加。開会の挨拶で共同代表の末永氏は、新型コロナで出せるようになった緊急事態宣言の危険性を訴えました。その後の来賓挨拶で、「くまの平和ネットワーク」の増田氏は、コロナの影響で取り組みが難しい状況であるが、熊野紀南地域の9条の会が連携を取りながら元気をつけていきたいと思いますと話されました。

「わかくま市民連合」の岡氏は、違憲の政治が続いている。政治を変える唯一の道は選挙である。棄権をする人たちにわかりやすい政策と魅力ある候補者をたて、一票が生かされるかもしれないという運動をし

ていく必要があると強調されました。「原水爆禁止すさみ町協議会」と「すさみ9条の会」の事務局長の加藤氏からも挨拶いただきました。加藤氏には議案討議の中では、すさみ町の活動経験や方針を話していただき、保守と思われる人の中にも「9条だけは変えさせない」という人がいるので、信頼して地域に入り話しかけて活動を広げてほしいとの発言がありました。

総会の議案と次期役員は提案どおり拍手で承認され、閉会の挨拶で船井共同代表は、今回計画した講演は次の機会に行い、みんなで地道に頑張っていきたいと思いますと話し、最後に憲法9条を朗読して締めました。
(事務局・上柳博さんより)

(「九条の会・わかやま」397)

手紙で訴え 440 人の署名集める

【宮城県／宮城憲法九条の会】 4月7日付のしんぶん赤旗に次のような写真入りの記事が掲載されました。「九条の会改憲反対署名」「宮城・95歳相沢さん440人分集める」という写真入り三段記事です。

元宮城県高教組委員長の相沢博さん(95)は高齢者住宅に入居していますが、年賀状を出している友人・知人・親戚に手紙をつけて「改憲発議反対署名」をお願いすることを思い立ちました。別紙の手紙をつけ、署名用紙を郵送しました。

帰ってきた署名用紙は95枚。440人分の署名が集まりました。実は手紙だけではありません。高齢者住宅内のうたごえサークルの仲間にも署名を呼び掛け、用紙の空いている欄に署名をしてもらいました。「少しでも多く集め、憲法9条を何としても守ら

なければなりません」と笑顔で話していました。

すごいと感心すると同時に私も頑張らなくちゃと感じました。(緊急署名推進センターみやぎ 事務局 佐藤)

【宮城県／村田9条を守る会】 コロナ問題では様々な対応が求められています。

「村田9条を守る会」でも4月4日に役員会を行い「うつさない・うつらない」に各自が気をつけながら、できることは行動しようとし、憲法九条は変わらないチラシ」5枚ずつ持ち歩きながら、活動しています。(村田9条を守る会 高橋)

(Eメール「みやぎの九条」No.320)

コロナの中の活動に激励相次ぐ

【徳島県／九条の会徳島】 九条の会徳島は9日朝、安倍首相の憲法9条改悪に反対し、徳島駅前の元町交差点でスタンディング宣伝をしました。

23人が参加。「安倍9条改憲許すな！」の横断幕や「I♥憲法」「守ろう憲法」の黄色いプラカードを掲げアピールしました。

鳴門市の女性(40)は「子どもたちが戦争に行かなくて済むように、将来のために平和を守ってほしい」と。徳島市の男性(32)は「コロナ問題で大変な時期だが、9条を守る活動は続けなければ」と語りました。

通りがかったダンプがクラクションを鳴らしながら手を振り、激励して行きました。

コロナ便乗改憲やめよと訴え

【青森市／9条を守る茶屋町の会】 9条を守る茶屋町の会は9日、市内で改憲発議阻止の街頭宣伝を行いました。

雨が降り冷え込む中6人が参加して「平和憲法を守ろう」「STOP改憲発議」などと書いた横断幕やのぼり旗を掲げました。

同会の門倉昇会長は、新型コロナウイルスの感染拡大による休業、休職の問題について「雇用調整助成金や緊急融資は無利子で借りられます。さらに、1人10万円を全国民にすぐ支給せよという野党の訴えに賛同していきましょう」と呼びかけました。

また、自民党がコロナ問題に乗じた改憲の動きを見せていると指摘。「改憲発議を阻止するために安倍改憲ノーの声をさらに強めていきましょう」と訴えました。

緊急事態条項口実の改憲を批判

【東京都文京区／本郷・湯島九条の会】

14日、新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく「緊急事態宣言」が発令されて初の「本郷・湯島九条の会」の昼街宣になりました。12名の方々が参加し、風の強い青空のもと元気よく活動を展開しました。

特殊な事情に鑑み、フライヤーは配らず、署名もせず、横断幕をみんなでもち、手書きのプラスターをもち訴えました。

新型コロナウイルス感染症で国民に自粛・休業を要請するのであれば補償を完全におこなえと。さらに世界中でコロナとたたかっているさなか、国家緊急権を内容とした緊急事態条項を憲法に書き込もうと画策する安倍政権を告発しました。

強風のなか、みなさまほんとうにご苦労さまでした。コロナや安倍政権に何としても打ち勝ち、新生日本をつくり、ましよう(石井 彰)

少人数でも続けることが大切

【奈良県桜井市／九条の会・桜井】

4月9日午後4時から30分間だけですが、桜井駅前5人でスタンディングアピールをしました。チラシとプラスターを見たり、「署名をお願いします」という声に会釈をして通り過ぎる人も数人いました。駅前ですが、乗降客も少なく寂しい宣伝でした。タクシードライバーさんは、「俺らは年金もらっているけど、若い運転手はお客さんが減って大変だと思う」と応じてくれました。少人数でも、続けることが大切と思っています。

(奈良「九条の会ネットワーク」)

フランシスコ教皇復活祭メッセージ

(抜粋)

……

今日、私の思いは、新型コロナウイルスの被害を直接うけている人々、とりわけ感染症の患者、亡くなられたかた、最愛の人の死を悼んでいるかたに向かいます。なかには最期の別れすら告げられなかった人もいます。いのちの主が、亡くなられたかたをみ国に迎え入れてくださいますように。また、今も苦境にある人、とくに高齢者と孤独な人にいやしと希望を与えてくださいますように。介護施設で働く人や、一時収容施設、拘置所にいる人といった、とりわけ感染リスクにさらされている人に対する、主の慰めと、必要な助けが欠けることはありませんように。……

今は分裂しているときではありません。全世界における即時停戦を求める呼びかけ

に勇気をもって応えられるよう、わたしたちの平和であるキリストが、紛争当事者を照らしてくださいますように。

今は武器を製造し、取引するときではありません。そのために費やされる莫大な資産は、人々をいやし、いのちを救うために使われるべきです。そしてさらに、今このときが、愛する国シリアでの流血を伴う長期紛争、イエメンの紛争、そしてイラクやレバノンの緊張状態に終止符をうつときになりますように。今このときが、イスラエルとパレスチナに平和をもたらす永続的で安定した解決策を見いだすために、両国間の対話を再開させるときとなりますように。ウクライナ東部の人々の苦しみがなくなりますように。アフリカの各地域で起きている大勢の無実の人へのテロ攻撃がなくなりますように。……

無関心、利己主義、分裂、忘れること、これらのことばは、今このときに決して聞きたくないことばです。それらをあらゆる時代から締め出したいと思います。恐れと死に圧倒されるとき、つまりわたしたちの心と人生における主イエスの勝利を受け入れられないとき、これらのことばが優勢になるように思われます、永遠の救いへの道を切り開くことによって、死をすでに打ち負かした主は、わたしたちの乏しい人間性という暗闇を一掃し、終ることのないご自身の栄光の日へとわたしたちを導いておられます。

こうした思いのうちに、皆さんに復活祭のお祝いを申し上げます。

(カトリック中央協議会 ホームページ)